

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社銀座山形屋  
 コード番号 8215 URL <http://www.ginyama.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 山形 政弘  
 (氏名) 渡辺 光潤

TEL 03-3545-4731

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	3,654	△12.5	△127	—	△72	—	△122	—
21年3月期第3四半期	4,178	—	△135	—	△86	—	△167	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△7.10	—
21年3月期第3四半期	△9.70	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	4,722	3,195	67.7	185.04
21年3月期	4,624	3,398	73.5	196.80

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 3,195百万円 21年3月期 3,398百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—		
22年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,909	△9.4	△170	—	△120	—	△169	—	△9.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	18,044,715株	21年3月期	18,044,715株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	777,008株	21年3月期	775,198株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	17,268,885株	21年3月期第3四半期	17,275,052株

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年の米国発の世界的な金融危機に端を発した景気後退が下げ止まりを見せ始めたものの、不安定な為替相場に加えて消費者物価にもデフレ状況の傾向が見られるなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の実績といたしましては、売上高は36億5千4百万円（前年同四半期比12.5%減）、経常損失は7千2百万円（前年同四半期は8千6百万円の経常損失）、四半期純損失は1億2千2百万円（前年同四半期は1億6千7百万円の四半期純損失）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は47億2千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千7百万円増加いたしました。

主な要因は当第3四半期会計期間末日が銀行休業日にあたるため、買掛金及び未払金の決済が翌四半期につれこんだことにより現金及び預金が増加した一方で、投資有価証券の時価の下落に伴う減少や敷金及び保証金の返還による減少があったことによるものであります。

負債につきましては前連結会計年度末に比べて3億1百万円増加し15億2千7百万円となりました。

主な要因は当第3四半期会計期間末日が銀行休業日にあたるため、買掛金及び未払金の決済が翌四半期につれこんだことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億3百万円減少し31億9千5百万円となりました。

これは四半期純損失1億2千2百万円を計上したことによるものと、投資有価証券の時価の下落に伴う、その他有価証券評価差額金の減少8千万円があったことによるものであります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は9億1千7百万円で前連結会計年度末に比べて2億9千3百万円増加（前年同四半期は9千5百万円の減少）いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億6千5百万円の増加となりました。（前年同四半期は1億2千7百万円の増加）これは仕入債務の増加による資金の増加2億1千5百万円があった一方で、税金等調整前四半期純損失の計上1億1千1百万円等があったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億2千9百万円の増加となりました。（前年同四半期は1億3千6百万円の減少）これは主に退店店舗の差入保証金の返還による資金の増加1億3千1百万円があったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース債務の返済による支出等により1百万円の減少となりました。前年同四半期は配当金の支払等による支出が8千7百万円ありました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気減速に伴う個人消費の減退等の影響を受け、当社は売上高及び売上総利益の確保が難しい状況となっております。また、第4四半期会計期間においても、当社業績は引き続き厳しい状況となることが予想され、通期業績の計画確保が困難な状況となっております。

以上の結果、平成21年11月11日に発表した平成22年3月期の通期連結業績予想を修正しております。内容につきましては本日発表しております、「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」及び「平成22年3月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

### 4. その他

#### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	917,431	623,830
受取手形及び売掛金	597,540	602,731
商品及び製品	247,332	213,575
仕掛品	18,852	10,830
原材料	139,954	133,642
その他	118,297	171,290
貸倒引当金	△2,616	△4,498
流動資産合計	2,036,791	1,751,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	150,343	182,555
その他(純額)	264,218	263,687
有形固定資産合計	414,561	446,242
無形固定資産		
その他	7,583	8,206
無形固定資産合計	7,583	8,206
投資その他の資産		
投資有価証券	1,059,492	1,158,224
敷金及び保証金	993,159	1,050,742
その他	359,253	373,603
貸倒引当金	△148,298	△163,663
投資その他の資産合計	2,263,607	2,418,906
固定資産合計	2,685,752	2,873,356
資産合計	4,722,543	4,624,758
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	436,000	220,750
未払法人税等	10,699	11,317
ポイント引当金	31,522	27,146
その他	450,034	353,700
流動負債合計	928,258	612,915
固定負債		
繰延税金負債	49	13,743
退職給付引当金	486,431	491,262
役員退職慰労引当金	90,295	89,565
その他	22,273	18,712
固定負債合計	599,051	613,284
負債合計	1,527,309	1,226,199

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	1,174,617
利益剰余金	△275,634	△444,611
自己株式	△79,151	△79,031
株主資本合計	3,255,722	3,378,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△60,488	20,024
評価・換算差額等合計	△60,488	20,024
純資産合計	3,195,234	3,398,559
負債純資産合計	4,722,543	4,624,758

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	4,178,226	3,654,295
売上原価	1,982,795	1,739,646
売上総利益	2,195,430	1,914,649
販売費及び一般管理費	2,331,163	2,041,711
営業損失(△)	△135,733	△127,062
営業外収益		
受取利息	2,048	2,517
受取配当金	31,359	29,194
受取手数料	12,965	11,367
雑収入	8,688	13,166
営業外収益合計	55,061	56,245
営業外費用		
支払利息	—	324
投資事業組合運用損	4,939	59
雑損失	1,039	1,101
営業外費用合計	5,979	1,485
経常損失(△)	△86,650	△72,302
特別利益		
貸倒引当金戻入額	530	17,246
償却債権取立益	114	—
特別利益合計	645	17,246
特別損失		
役員退職慰労金	1,157	—
固定資産除却損	3,047	104
投資有価証券評価損	10,430	1,293
固定資産処分損	14,160	33,585
減損損失	45,019	21,626
特別損失合計	73,815	56,609
税金等調整前四半期純損失(△)	△159,820	△111,665
法人税、住民税及び事業税	7,685	11,026
法人税等合計	7,685	11,026
四半期純損失(△)	△167,506	△122,691

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△159,820	△111,665
減価償却費	46,654	30,067
減損損失	45,019	21,626
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△907	△17,246
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,484	730
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△5,769	△4,830
受取利息及び受取配当金	△33,407	△31,712
支払利息	—	324
売上債権の増減額 (△は増加)	19,421	13,014
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△91,083	△48,090
仕入債務の増減額 (△は減少)	250,973	215,250
その他	55,289	74,696
小計	120,884	142,163
利息及び配当金の受取額	33,421	31,717
利息の支払額	—	△324
法人税等の支払額	△26,405	△7,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,900	165,578
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25,929	△11,604
投資有価証券の取得による支出	△1,311	△1,328
敷金及び保証金の回収による収入	44,473	131,745
敷金及び保証金の差入による支出	△213	△188
短期貸付けによる支出	△150,000	—
出資金の回収による収入	—	4,500
貸付金の回収による収入	—	8,823
その他	△3,150	△2,867
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,130	129,081
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△912	△120
リース債務の返済による支出	—	△938
配当金の支払額	△86,396	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,308	△1,058
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△95,539	293,600
現金及び現金同等物の期首残高	1,111,254	623,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,015,715	917,431

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

当社グループは、衣料品製造販売（受託縫製を含む）事業を主な事業としておりますが、当セグメントの売上高及び営業損失の金額が、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の合計の90%を超えておりますので、事業のセグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

存子会社及び存外支店はありませんので記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高はありませんので記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、その他資本剰余金を291,668千円減少し繰越利益剰余金の欠損を填補することを決議しております。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が291,668千円減少し、繰越利益剰余金が291,668千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が882,948千円、利益剰余金が△275,634千円となっております。